

# 山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	671400281
法人名	医療法人社団 緑愛会
事業所名	グループホーム 香紅の里
訪問調査日	平成 20 年 11 月 19 日
評価確定日	平成 21 年 1 月 7 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	671400281		
法人名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	グループホーム 香紅の里		
所在地 (電話番号)	山形県村山市楯岡俵町20番19号 (電話) 0237-52-1001		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年11月19日	評価確定日	平成21年1月7日

## 【情報提供票より】(平成20年9月25日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14人, 非常勤 人, 常勤換算 14人	

## (2) 建物概要

建物形態	○併設/単独	新築/改築
建物構造	鉄骨造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 400円
敷金	有( 円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

## (4) 利用者の概要(9月25日現在)

利用者人数	18 名	男性 8 名	女性 10 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名
要介護3	4 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	名
年齢	平均 81.9 歳	最低 72 歳	最高 96 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	奥山内科循環器科クリニック きはら歯科クリニック
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「利用者一人ひとりに寄り添うケア」を目指しながら、「一人ひとりを大切に  
する視点からの個別ケア」にも積極的に取り組んでおり、利用者それぞれ  
が生活の中で「張り」を持ち、「喜び」「楽しみ」「悲しみ」を利用者と職員とが  
一緒に体験・体感しながら暮らすことができています。  
また、職員の育成やスキルアップの研修にも力を入れており、質の高いケ  
アを支える「人づくり」にも取り組まれています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 「住み慣れた地域での生活を支えるため、私達はお客様の尊厳を守り、共に 喜び共に楽しみ笑顔と生き甲斐をもって暮らせるお手伝いをします。」という事 業所独自の理念を、職員全員で話し合い作り上げている。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者以外の職員が自己評価に関わる取り組みもみられたが、その範囲は自 己評価項目数の3分の1(No.33~No.49, No.88~No.100)となっている。また、前回 の外部評価結果や今回の自己評価の内容について、職員が把握できていな い状況もみられた。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2ヶ月に1度開催され、月の予定、利用者状況、苦情、アン ケート結果などの報告や意見交換を行い、サービスの向上に活かされている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族アンケートが年3回行われており、集計結果、意見、要望、課題は職員で 話し合い、また、家族にも話し合いの結果を送付し、サービスの向上に反映さ せるようにしている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 「踊りや歌のボランティア」の発表の場として、地域の方がホームを訪れてい る。また、近くの小学校の見守り隊をしているため、祖父母参観日や相撲大 会、運動会などの行事にも招かれており、地域の方と交流できるよい機会と なっている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「住み慣れた地域での生活を支えるため、私達はお客様の尊厳を守り、共に喜び共に楽しみ笑顔と生き甲斐をもって暮らせるお手伝いをします。」という事業所独自の理念を、職員全員で話し合い作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念がユニットの玄関に掲示され、誰にでもすぐわかるようになっている。また、理念を踏まえながら個人目標も設定されており、職員は理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「踊りや歌のボランティア」の発表の場として、地域の方がホームを訪れている。また、近くの小学校の見守り隊をしているため、祖父母参観日や相撲大会、運動会などの行事にも招かれており、地域の方と交流できるよい機会となっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者以外の職員が自己評価に関わる取り組みもみられたが、その範囲は自己評価項目数の3分の1(No.33～No.49、No.88～No.100)となっている。また、前回の外部評価結果や今回の自己評価の内容について、職員が把握できていない状況もみられた。	○	評価は一連の過程を職員全員で取り組むことで、職員の意識あわせ、ケアの振り返りや見直し等が可能となり、また、職員が全員で取り組むことで実施した際に最大の効果をもたらすことができるため、項目一つひとつを職員全員で点検していく過程を設ける取り組みも期待される。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催され、月の予定、利用者状況、苦情、アンケート結果などの報告や意見交換を行い、サービスの向上に活かされている。		

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月1回の市主催の介護保険事業所連絡会議に参加したり、ホームの広報誌を市に届けたりしている。また、ホーム備品関係に関して家族から寄せられた問い合わせについての相談も行われている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶりや健康状態は、面会時と月1回作成するホーム便りやお便りの中で家族に報告されている。また、金銭管理の面会時の確認、遠方の家族への領収書と出納帳のコピー送付も行われている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族アンケートが年3回行われており、集計結果、意見、要望、課題は職員で話し合い、また、家族にも話し合いの結果を送付し、サービスの向上に反映させるようにしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>日頃から職員全員が利用者一人ひとりと寄り添うケアに取り組んでおり、職員の異動や退職があった場合でも、利用者へのダメージをできるだけ防げるように配慮されている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人やホーム独自の研修や勉強会に積極的に参加しており、また、参加した職員による勉強会も開催し、職員間の情報共有やサービスの質の向上に繋げている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内交換研修への参加やグループホーム協会主催の交換研修受け入れなどにより、同業者との交流を通じたサービス向上に取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者に調理方法や味付けを教えてもらったり、馴染みの場所に一緒に出掛けるなど、共に過ごす場面を作っているようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	課題分析シートを用いて、利用者一人ひとりの「その人らしさ」を大切にしながら、利用者の希望や意向の把握が行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開き、その人らしい暮らしが続けられるよう、本人、家族、職員の意見やアイデアを出し合って介護計画書が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	課題ごとに計画期間を1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月に設定し、カンファレンス(検討会)を開いて介護計画が定期的に見直されている。また、状態に変化があった場合の話し合いも行われており、現状に合った介護計画書が作成されている。		

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	協力医療機関からの往診が2週間おきに行われてお り、また、家族と職員によるかかりつけ医の受診支援と 受診の結果についての情報交換も行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化や終末期に向けたホームの方針については家 族に説明されており、また、状態に変化があった場合 には、家族やかかりつけ医との話し合いを行い、情報や 方針が共有できるようにしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	居室の横引き戸の扉が「曇りガラス」と「素ガラス」を組 み合わせた造りのため、状況によっては、排泄介助等 の様子が廊下からも見えてしまう可能性があり、課題で もあると認識されている。	○	他事業所の取り組み、配慮や工夫等についての情報収 集、また、市担当者との意見交換なども行いながら、利用 者のプライバシーの確保がさらに徹底できる検討も期待し たい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの「できること」「したいこと」を見つ け、利用者中心の生活ができるように支援されており、 利用者の希望により、職員と共に自宅に1週間通って 畑仕事をした例もある。		

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新聞の折り込みチラシ等も見ながら利用者と職員と一緒に考えて食事の献立を決めるようにしており、食材を買いに行くことにより、食事がより楽しみなものとなるようにしている。また、可能な場合には、味付けから盛り付けまでを利用者にも行ってもらったり、洗い物や食器拭きも担当してもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームではいつでも入浴することができ、また、近隣の足湯や温泉に出かける機会や隣接しているデイサービスセンターの特殊浴槽で入浴できる機会も設けられている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	「畑仕事」「花の水やり」「縫い物」「ユニット合同の運動会」「ドライブ」など、役割、楽しみごと、気晴らしの支援が行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買い物や散歩に出かけたり、隣接しているデイサービスセンターへの訪問など、利用者の要望に合わせた支援が行われている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	利用者の安全に対する気配りと目配りをしながら職員は支援にあたり、また、外に出たい利用者がいた場合には職員も付き添って一緒に外に出てみるようにしているため、日中の玄関への施錠は行われていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	平成20年3月に消防設備の点検や初期消火訓練を行ったが、それ以降の訓練は行われていない。また、夜間の災害発生を想定した訓練等の対策が今年はまだ進めていないことは、今後の取り組み課題の一つであると認識されている。	○	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけられるよう、夜間の災害発生を想定した訓練にも取り組んでみるなど、災害対策や訓練の更なる充実を期待したい。

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の摂取カロリーの計算を職員が行っており、栄養バランスへの配慮もなされている。また、摂取量が不足ぎみの利用者には、個別の嗜好にも配慮した支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には「掘りごたつ」「床の間」があり、所々に写真や季節の花々を飾り、居心地のよい空間になっている。また、「食堂兼居間」「廊下」は、清潔感のある広くて明るいスペースとなっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりの居室には「家族の写真」「家具」「使い慣れた布団」など持ち込まれており、その人の好みも尊重された居心地のよい居室となっている。		